

セグロセキレイ ハクセキレイ キセキレイ

セキレイの類を総称して“Wagtail”といいます。Wagとは、ちょうど犬が尾を振るような動作を指すので、「Tail（尾）を振る鳥」ということになります。和名では色分けだけですが、英名の方はやや複雑になっています。

セグロセキレイ	Japanese Wagtail（日本の）
ハクセキレイ	White Wagtail（白い）
キセキレイ	Gray Wagtail（灰色の）

キセキレイが Yellow（黄）でなくて何故 Gray（灰色）なのか定かではありませんが、おそらく背中の色から命名したのでしょう。鳥のどの部分に注目したかによる違い、ということでしょう。同様にアオサギも Blue（青）ではなく“Gray Heron”です。私自身、間違えて Blue Heron と外人に説明する傍から「Gray Heron!」と他の日本人バードウォッチャーに訂正されて赤面した経験があります。

何故セグロセキレイに Japanese という形容詞が冠せられるのでしょうか。世界の 11 種あるセキレイ類のうち、セグロセキレイだけが日本固有の種で、日本でしか見られないからです。外人のバードウォッチャーには、まずセグロセキレイを教えてあげたら喜ばれること請合いです。

“Japanese” がつけば、すべて日本固有種かということ、必ずしもそうではありません。日本固有種は、ヤマドリ・ヤンバルクイナ・アマミヤマシギ・アオゲラ・ノグチゲラ・セグロセキレイ・カヤクグリ・アカヒゲ・アカコッコ・メグロ・ルリカケスの 11 種。このなかで Japanese がつくのは 3 種だけですが、どれでしょうか？次回をお楽しみに。

大宮のハクトウワシ